

令和5年11月30日

南風原町長 赤嶺正之 殿

南風原町社会福祉協議会  
会長 大城 正治 殿

南風原町地域福祉計画策定委員会  
委員長 上地 武昭

南風原町地域福祉計画の策定について（答申）

令和5年7月5日付け、南こ第785号、南社協第274号で諮問のありましたみだしの件につきまして、本委員会で慎重に審議を重ね、「第3次南風原町地域福祉推進計画(案)」としてまとめましたので、別紙意見書を添えて答申します。

（添付資料）

- ・「第3次南風原町地域福祉推進計画（ちむぐくるプラン）（案）」
- ・意見書

## 意見書

「第3次南風原町地域福祉推進計画（ちむぐくるプラン）」の策定にあたり、第二次計画の評価を踏まえ、各委員の意見等を集約した。本計画は町が策定した「地域福祉計画」と、社会福祉協議会が策定した「地域福祉活動計画」との一体的計画であり、その推進にあたっては住民等の参画を得て、町および社会福祉協議会の施策と地域主体での活動や行動を、より密接に連動させて取り組む必要があります。

今後の計画推進にあたっては、下記の意見に十分に配慮し「ちむぐくるで笑顔あふれる福祉のまち南風原」の実現に向けて、関係機関とも連携を密にし、着実な推進を図るよう、要望いたします。

### 記

1. 本計画の推進にあたっては、住民をはじめ、地域の関係機関・各種団体、サービス事業者等が地域福祉を担う主体として互いに連携し、それぞれの役割を果たしながら、協働して計画の推進を図ってほしい。
2. 地域福祉を支える人材の確保と育成等が必要であり、特に民生委員・児童委員の人員確保や資質向上に取り組んでもほしい。
3. 地域に関心を持っている方々が参加しやすい、研修会や福祉に関する学びの場を提供することにより、住民や各種団体の福祉意識の高揚に取り組んでもほしい。
4. 高齢者支援、障がい者支援、子育て支援、生活困窮者支援等のそれぞれの相談機関だけでは対応しがたい複合的な課題は、重層的な支援が必要であり、各機関が連携・協働する包括的な相談体制を構築してほしい。
5. 大規模災害の備えを地域福祉の観点からも検討する必要がある。平時からの見守りや支え合い活動の推進、要支援者への災害時対応等が重要であるが、その取り組みが住民と共有出来ていないことから、災害時を想定した体制の強化と情報発信の充実に取り組んでもほしい。